

研究室 からの メッセージ

124

後列左から 前屋敷, 小松
前列左から 入江, 城島, 奥田

Data(2015年3月現在)

所在地: 〒634-8521 奈良県橿原市四条町840
スタッフ: 城島哲子(教授), 入江安子(准教授),
奥田真紀子(准教授:在宅), 小松雅代(助教), 前
屋敷明江(助教)
URL <http://www.naramed-u.ac.jp/>



奈良県立医科大学医学部看護学科 公衆衛生看護学領域・在宅看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう?

本学は創立70年を迎えた単科医科大学です。看護師教育は附属厚生女学部, 附属高等看護学校, 看護短期大学部を経て, 2004(平成16)年4月に医学部看護学科が開設されました。2012(平成24)年には大学院看護学研究科(修士課程)も開設し, 同年に領域名称を地域看護学から公衆衛生看護学に変更しました。また, 2015(平成27)年4月から在宅看護学領域(4名予定)が公衆衛生看護学領域(4名在籍)から独立しました。

Education

どのような教育をしていますか?

本学の強みは領域全員が保健師実務経験を有していることです。医学科の協力を得て公衆衛生科目は学内講師が担当しています。国家試験が近づくと4年生主催の「直前ゼミ」に総力をあげて対応しています。2014(平成26)年度から保健師選抜制を導入し, 5単位の実習には「僻地における自然災害時の危機管理」を取り入れる計画です。8期生までの卒業生で保健師として就職したのは64名(県内保健師が40名, そのうち吉野郡[僻地]で10名)おり, 本学の貢献度は高いと自負しています。

Research

どのような研究をしていますか?

現在進行中の主な研究は, 「地震による津波被災地に全戸訪問ボランティアとして参加した保健師による家庭訪問活動の意義」「妊婦の心理・社会的要因と産後うつ, 子どもの発達の困難さとの関連の検討コホート研究」「養育支援事業における支援選択の指標開発」「医療依存度の高い難病患者と家族介護者のレスパイト体制整備に関する研究」「食品と花粉飛散量の組み合わせによるアレルギー症状の増強因子に関する研究」などであり, 修士課程地域看護学分野にも在籍者がいます。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは?

教員はそれぞれ, 奈良県保健師人材育成推進検討委員会, 奈良県国民健康保険団体連合会保険事業支援評価委員会, 奈良県公衆衛生協議会企画運営委員会, 奈良市介護保険認定審査委員会, 奈良市子ども条例検討委員会などに所属して活躍しています。大学周辺の地区組織との交流を積み重ねた結果, 学生全員の健康教育を受け入れていただいています。

ひとこと

最近では, 優秀な学生ほど看護師での就職を希望する傾向があります。それは看護師の卒後キャリア開発の選択肢が広いからだと思われます。一方で, 保健師のキャリアパスは地域格差が大きいです。実習地で出会う指導者が活き活きと活躍していなければ, 有望な学生をひきつけることができないと感じています。

……城島

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは, このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や, 研究活動, 現場とのつながりを紹介してください。
応募方法●電話, FAX, E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。
連絡先●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp